



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月13日

上場会社名 永大化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 7877 URL <https://www.eidaikako.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦 義則

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田中 敏幸

TEL 06-6791-3355

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,701	4.9	231	6.8	259	11.7	161	18.3
2020年3月期	8,097	0.1	248	18.9	232	34.7	136	47.3

(注) 包括利益 2021年3月期 166百万円 (71.6%) 2020年3月期 96百万円 (54.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	115.27		2.4	2.7	3.0
2020年3月期	95.51		2.0	2.5	3.1

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	9,585	6,894	71.9	4,996.96
2020年3月期	9,442	6,881	72.9	4,849.56

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,894百万円 2020年3月期 6,881百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	598	197	217	2,333
2020年3月期	98	254	168	2,160

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		65.00	65.00	92	67.4	1.3
2021年3月期		0.00		67.50	67.50	93	57.6	1.4
2022年3月期(予想)		0.00		67.50	67.50		51.7	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	3.9	300	29.4	300	15.6	180	11.3	130.45

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	1,460,000 株	2020年3月期	1,460,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	80,204 株	2020年3月期	41,104 株
期中平均株式数	2021年3月期	1,402,864 株	2020年3月期	1,431,764 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,402	8.5	169	6.0	208	35.8	137	63.7
2020年3月期	6,994	11.4	159	28.9	153	47.3	83	58.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	97.84	
2020年3月期	58.56	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	8,852		6,583		74.4		4,771.06	
2020年3月期	8,505		6,586		77.4		4,642.18	

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,583百万円 2020年3月期 6,586百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により企業収益は急激に悪化し、社会経済活動を回復させていくなかで各種政策の効果により一部には持ち直しの動きがありましたものの、感染再拡大に伴い再度緊急事態宣言が発出されるなど収束が見通せない状況が継続しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、顧客のニーズに沿った新製品の開発から既存品の高付加価値商品化の推進に取り組むとともに、既存品の新規販路開拓等、成長分野での販売強化を図ってまいりました。また、利益率の改善のため経費節減等の業務効率化に努めてまいりました。

その結果、売上高77億1百万円（前期比4.9%減）、営業利益2億31百万円（前期比6.8%減）、経常利益2億59百万円（前期比11.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1億61百万円（前期比18.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [自動車用品関連]

自動車用品関連につきましては、自動車業界全体においては、自動車販売台数は新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動自粛等により、上半期は前年に比べ月当たり最大40%程度減少した月があったことに伴って当社の自動車用フロアマットの売上も大幅に減少しましたが、下半期は概ね前年平均水準に復調し推移いたしました。その結果、売上高48億83百万円（前期比10.0%減）、営業利益1億45百万円（前期比24.4%増）となりました。

#### [産業資材関連]

産業資材関連につきましては、電子部品関連は自動車関連向けの搬送トレイ部材などに新型コロナウイルス感染拡大の影響による受注減の影響はありましたが、冷蔵庫用関連部材が堅調に推移したことに加え、住宅建材向け新製品の売上増加で補う結果となりました。また、公共事業向け部材およびエクステリア向けデッキ材については、概ね前期並みで推移いたしました。その結果、売上高28億18百万円（前期比5.4%増）、営業利益86百万円（前期比34.5%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、95億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億43百万円の増加となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して1億88百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加1億72百万円、受取手形及び売掛金の増加95百万円、たな卸資産の減少59百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して44百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の減少72百万円、土地使用権の減少20百万円、投資有価証券の増加29百万円によるものであります。

当連結会計年度末の負債は、26億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億29百万円の増加となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して3億61百万円の増加となりました。その主な要因は、電子記録債務の増加38百万円、短期借入金の増加1億25百万円、未払法人税等の増加81百万円、賞与引当金の増加40百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して2億31百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の減少1億79百万円、退職給付に係る負債の減少57百万円によるものであります。

当連結会計年度末の純資産は、68億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して13百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加69百万円、為替換算調整勘定の減少52百万円によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は23億33百万円と前連結会計年度末と比較して1億72百万円の増加となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益が2億54百万円、減価償却費2億54百万円、賞与引当金の増加41百万円、売上債権の増加1億8百万円、たな卸資産の減少32百万円、仕入債務の増加94百万円、その他の負債の増加47百万円などにより、当連結会計年度における資金の収入は5億98百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億円の収入増加となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出1億67百万円、保険積立金の積立による支出21百万円などにより、当連結会計年度における投資活動による資金の支出は1億97百万円となり、前連結会計年度末と比較して56百万円の支出減少となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の増加1億25百万円、長期借入金の返済による支出2億80百万円、長期借入れによる収入90百万円、自己株式の取得による支出60百万円、配当金の支払額92百万円により、当連結会計年度末における財務活動による資金の減少は2億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億85百万円の資金減少となりました。

#### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	75.4	73.5	73.8	72.9	71.9
時価ベースの自己資本比率(%)	21.7	27.0	23.0	20.5	22.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	22.1	24.3	25.3	905.9	137.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	454.9	516.4	602.0	21.3	97.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、国内でワクチン接種が開始されるものの、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策として外出自粛など、経済活動への制約が続く可能性があり、景気は徐々に持ち直していくことが期待されますが、不確定要素が多く先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

以上を踏まえ、2022年3月期の連結業績見通しは、売上高80億円（前期比3.9%増）、営業利益3億円（前期比29.4%増）、経常利益3億円（前期比15.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1億80百万円（前期比11.3%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,160,872	2,333,075
受取手形及び売掛金	1,674,296	1,769,882
商品及び製品	793,359	747,999
仕掛品	127,822	136,473
原材料及び貯蔵品	698,449	675,217
未収入金	63,506	81,102
未収還付法人税等	18,464	2,147
その他	55,294	34,279
流動資産合計	5,592,065	5,780,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,031,040	3,037,450
減価償却累計額	△2,227,577	△2,273,783
減損損失累計額	△62,043	△61,574
建物及び構築物 (純額)	741,419	702,092
機械装置及び運搬具	2,169,080	2,243,011
減価償却累計額	△1,608,354	△1,689,576
減損損失累計額	△56,661	△54,573
機械装置及び運搬具 (純額)	504,063	498,860
工具、器具及び備品	343,971	289,547
減価償却累計額	△275,485	△248,671
減損損失累計額	△638	△635
工具、器具及び備品 (純額)	67,848	40,241
土地	1,842,844	1,842,844
有形固定資産合計	3,156,175	3,084,039
無形固定資産		
土地使用権	200,253	180,158
その他	52,791	42,790
無形固定資産合計	253,044	222,948
投資その他の資産		
投資有価証券	133,203	162,921
繰延税金資産	63,571	55,452
退職給付に係る資産	—	16,489
その他	244,131	263,860
投資その他の資産合計	440,906	498,723
固定資産合計	3,850,126	3,805,711
資産合計	9,442,192	9,585,891

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	591,161	609,030
電子記録債務	329,187	367,419
短期借入金	50,000	175,500
1年内返済予定の長期借入金	127,080	116,004
未払法人税等	8,032	89,723
賞与引当金	90,994	131,381
役員賞与引当金	9,525	9,525
その他	202,189	271,434
流動負債合計	1,408,170	1,770,017
固定負債		
長期借入金	714,233	534,593
繰延税金負債	33,148	34,226
再評価に係る繰延税金負債	281,303	281,303
役員退職慰労引当金	24,986	29,186
退職給付に係る負債	99,335	41,783
固定負債合計	1,153,006	921,091
負債合計	2,561,176	2,691,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,271,253	1,271,253
利益剰余金	3,872,968	3,942,450
自己株式	△58,896	△119,016
株主資本合計	6,327,025	6,336,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,840	46,293
繰延ヘッジ損益	2,053	—
土地再評価差額金	476,930	476,930
為替換算調整勘定	82,657	29,826
退職給付に係る調整累計額	△40,491	5,343
その他の包括利益累計額合計	553,990	558,393
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,881,015	6,894,781
負債純資産合計	9,442,192	9,585,891

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,097,815	7,701,820
売上原価	6,215,671	5,927,166
売上総利益	1,882,144	1,774,653
販売費及び一般管理費	1,633,528	1,542,852
営業利益	248,615	231,800
営業外収益		
受取利息	395	254
受取配当金	2,634	4,029
受取賃貸料	5,794	4,669
為替差益	—	10,445
助成金収入	—	16,030
その他	10,896	11,862
営業外収益合計	19,720	47,290
営業外費用		
支払利息	4,516	6,155
為替差損	21,947	—
手形売却損	—	2,227
その他	9,475	11,188
営業外費用合計	35,939	19,570
経常利益	232,396	259,520
特別利益		
固定資産売却益	1,913	203
投資有価証券売却益	39	—
特別利益合計	1,952	203
特別損失		
固定資産処分損	13,565	5,340
和解金	14,153	—
特別損失合計	27,718	5,340
税金等調整前当期純利益	206,630	254,384
法人税、住民税及び事業税	31,940	108,902
法人税等調整額	37,937	△16,228
法人税等合計	69,878	92,673
当期純利益	136,752	161,710
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	136,752	161,710

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	136,752	161,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,780	13,452
繰延ヘッジ損益	4,059	△2,053
為替換算調整勘定	△17,354	△52,831
退職給付に係る調整額	△22,888	45,835
その他の包括利益合計	△39,964	4,403
包括利益	96,787	166,113
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	96,787	166,113
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,241,700	1,203,754	3,818,509	△237,677	6,026,286
当期変動額					
剰余金の配当			△82,293		△82,293
親会社株主に帰属する当期純利益			136,752		136,752
自己株式の取得				△34,136	△34,136
自己株式の処分		67,499		212,916	280,416
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	67,499	54,459	178,780	300,739
当期末残高	1,241,700	1,271,253	3,872,968	△58,896	6,327,025

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	36,621	△2,005	476,930	100,012	△17,603	593,954	—	6,620,241
当期変動額								
剰余金の配当								△82,293
親会社株主に帰属する当期純利益								136,752
自己株式の取得								△34,136
自己株式の処分								280,416
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,780	4,059	—	△17,354	△22,888	△39,964	—	△39,964
当期変動額合計	△3,780	4,059	—	△17,354	△22,888	△39,964	—	260,774
当期末残高	32,840	2,053	476,930	82,657	△40,491	553,990	—	6,881,015

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,241,700	1,271,253	3,872,968	△58,896	6,327,025
当期変動額					
剰余金の配当			△92,228		△92,228
親会社株主に帰属する当期純利益			161,710		161,710
自己株式の取得				△60,119	△60,119
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	69,482	△60,119	9,362
当期末残高	1,241,700	1,271,253	3,942,450	△119,016	6,336,388

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	32,840	2,053	476,930	82,657	△40,491	553,990	—	6,881,015
当期変動額								
剰余金の配当								△92,228
親会社株主に帰属する当期純利益								161,710
自己株式の取得								△60,119
自己株式の処分								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	13,452	△2,053	—	△52,831	45,835	4,403	—	4,403
当期変動額合計	13,452	△2,053	—	△52,831	45,835	4,403	—	13,765
当期末残高	46,293	—	476,930	29,826	5,343	558,393	—	6,894,781

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	206,630	254,384
減価償却費	262,088	254,461
のれん償却額	9,783	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,544	41,145
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,725	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△29,592	4,200
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4,554	△8,130
受取利息及び受取配当金	△3,030	△4,284
助成金収入	—	△16,030
支払利息	4,516	6,155
為替差損益 (△は益)	1,623	△2,194
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△39	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	11,652	5,136
売上債権の増減額 (△は増加)	87,140	△108,401
たな卸資産の増減額 (△は増加)	245,995	32,507
仕入債務の増減額 (△は減少)	△504,733	94,678
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,859	△6,806
その他の負債の増減額 (△は減少)	△45,523	47,990
小計	208,277	594,812
利息及び配当金の受取額	4,241	4,903
利息の支払額	△4,627	△6,024
助成金の受取額	—	16,030
法人税等の支払額	△109,503	△10,779
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,388	598,942
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△224,805	△167,967
有形固定資産の売却による収入	2,523	3,030
投資有価証券の取得による支出	△20,893	△11,028
投資有価証券の売却による収入	10,634	—
無形固定資産の取得による支出	△6,239	△480
保険積立金の積立による支出	△13,239	△21,404
保険積立金の解約による収入	10,615	—
非連結子会社出資金の払込による支出	△10,801	—
その他	△1,801	275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,007	△197,574
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	125,500
長期借入金の返済による支出	△65,181	△280,716
長期借入れによる収入	350,000	90,000
自己株式の取得による支出	△34,136	△60,119
配当金の支払額	△82,293	△92,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	168,389	△217,564
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,408	△11,601
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,361	172,202
現金及び現金同等物の期首残高	2,086,734	2,160,872
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	65,776	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,160,872	2,333,075

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別に事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車用品関連」及び「産業資材関連」の2つを報告セグメントとしております。

「自動車用品関連」は、自動車用フロアマットの製造及び販売をしております。「産業資材関連」は、半導体関連部材・工業用部品・鋼製家具関連部材・住宅建材等の製造（外注委託生産を含む）及び販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	自動車用品関連	産業資材関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,424,151	2,673,664	8,097,815	—	8,097,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,424,151	2,673,664	8,097,815	—	8,097,815
セグメント利益	117,076	131,539	248,615	—	248,615
セグメント資産	4,105,840	2,402,567	6,508,407	2,933,784	9,442,192
その他の項目					
減価償却費	189,506	72,582	262,088	—	262,088
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	52,166	113,157	165,324	51,606	216,931

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社建物等であります。

(2) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社建物等の設備投資額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 各報告セグメントに配分していない全社資産に含まれる本社建物等の償却費は、社内基準により各報告セグメントへ配賦し、セグメント利益を算定しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	自動車用品関連	産業資材関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,883,819	2,818,001	7,701,820	—	7,701,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,883,819	2,818,001	7,701,820	—	7,701,820
セグメント利益	145,608	86,192	231,800	—	231,800
セグメント資産	4,015,325	2,450,172	6,465,497	3,120,393	9,585,891
その他の項目					
減価償却費	160,682	93,778	254,461	—	254,461
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	65,910	119,684	185,594	7,492	193,087

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社建物等であります。
- (2) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社建物等の設備投資額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 各報告セグメントに配分していない全社資産に含まれる本社建物等の償却費は、社内基準により各報告セグメントへ配賦し、セグメント利益を算定しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	ベトナム	合計
2,740,845	415,329	3,156,175

3 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ホンダアクセス	1,882,809	自動車用品関連
豊通オートモーティブ クリエーション株式会社	977,931	自動車用品関連
スズキ株式会社	935,585	自動車用品関連
丸紅ブラックス株式会社	881,392	産業資材関連

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	ベトナム	合計
2,746,050	337,988	3,084,039

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ホンダアクセス	1,582,804	自動車用品関連
スズキ株式会社	1,172,640	自動車用品関連
丸紅プラックス株式会社	1,087,757	産業資材関連

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	自動車用品関連	産業資材関連	計			
当期償却額	—	9,783	9,783	—	—	9,783
当期末残高	—	—	—	—	—	—

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	4,849.56円	4,996.96円
1株当たり当期純利益	95.51円	115.27円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	136,752	161,710
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	136,752	161,710
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,431	1,402

## (重要な後発事象)

## (自己株式の取得)

当社は、2021年5月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

## 1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元策として、1株当たりの価値を向上させていくため、自己株式を取得するものです。

## 2. 取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類 普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 2万株(上限)  
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.4%)
- (3) 株式の取得価額の総額 40百万円(上限)
- (4) 取得期間 2021年5月14日～2021年12月31日
- (5) 取得方法 東京証券取引所における市場買付

## (重要な訴訟事件)

2018年4月5日に当社の元従業員が死亡した件について、当該元従業員の遺族3名から、当社ほか2名の安全配慮義務違反等を理由として、2021年4月5日付けで損害賠償請求100,057千円(弁護士費用含む)の支払いを求めて訴訟の提起がなされました。

当社としましては、原告らからの請求に対して法廷の場で当社の立場を主張していく所存であります。

なお、今後の業績に与える影響については、現時点では予測することは困難であります。